



瑞中だより

学校だより 第 8 号
平成28年 9月 14日
瑞穂町立瑞穂中学校
〒190-1211 瑞穂町石畑 1961-1
TEL 042-557-0070

限界のない心

校長 池谷 芳彦

心の支えを失い意欲がなくなったり、障害にぶつかってくじけたりしたとき、最近の若者たちは、よく「心が折れた」と言います。気持ちや考えがそちらに向かう。また、気持ちが弱るという意味の「心折れる」から転じたとみられる言葉で、2000年代半ばからスポーツ選手が多用し、一般にも広がったようです。

さて、今年の夏休みに大いに盛り上がったリオデジャネイロ オリンピック。今月8日には、パラリンピックが開幕しました。その開会式のコンセプトは「限界のない心」です。大会組織委員会のカルロス・ヌズマン会長はスピーチで次のように語りました。

「このセレモニーは大きな挑戦を意味します。新しい世界をつくる、もっとバリアフリーな世界をつくる、より公平で親しみがあり障壁がない世界をつくる。難しい挑戦ですが、それが我々を成長させます」

「我々は、平等を実現するために共にいます。見た目は違っていても、同じ心をもった人たちです。すべての人に心があるのです。その心が、あらゆる障害を乗り越える勇気をくれます。諦めない決意を与えてくれます」

パフォーマンスの中では、リオの人々の1日を表す場面がありました。プロジェクションマッピングでフィールドをビーチに見立て、カラフルな衣装をまとった人々が様々に遊ぶ中には、障がいのある人も一緒に楽しむ場面もありました。

これから各競技のテレビ中継を見たいところですが、生徒の皆さんは、夏休み中ならまだしも2学期がはじまり、12時間もの時差があるのでそう簡単ではありません。ライブは無理でも、どれか一種目でもいいので興味・関心のある競技の映像を見てほしい。あるいは、ニュースの映像でもかまいません。それぞれの選手たちの頑張りは、障がいがあってもなくても変わらないことに気付かされるはず。目標に向かって努力する姿には、オリンピック選手でもパラリンピック選手でも感動させられるし、表彰されたときの選手的笑顔は本当に美しいと思います。スポーツのもつ可能性やすばらしさを改めて感じるすることができます。

スポーツ選手が多用し、一般にも広がった「心が折れた」という言葉は、よく考えてみると、いったんは負けを認め、諦めたけれど、次に向けてスタートする。小休止する。ちょっとだけ休む。さらに、いつかリベンジするという意味合いが込められているのではないかと思います。オリンピックやパラリンピアンは、きっと何回も何回も「心が折れた」のでしょうけれど、そのたびに立ち上がり、より強くなって、オリンピックという栄光の舞台に立てたに違いありません。

心には限界はないことが分かっているにもかかわらず、多くの方は、自分で自分の限界を決めてしまっています。身の丈に合った生活をすることや、身の程を知ることが大切ですが、若い中学生の皆さんは可能性のかたまりです。ささいなことで「心が折れた」ままになっている人はいませんか？

あるパラリンピアンの言葉（名言）を紹介します。

「私は事故で右足を失った。そして左足は残っている。失った右足を後悔して生きるのか、残った左足の可能性を見て生きるのか。私は後者を希望と呼ぶ」

◎瑞穂中学校は「いじめ」を許しません！

いじめに限らず、何かありましたら学校へご相談ください。電話 042-557-0070

◎不審者に十分気を付けましょう。何かあったら、まず、「110番」！

◎瑞穂中体罰ゼロ宣言スローガン（9月）「体罰防止は、話し合いある職場から」

★工事などのお知らせ 平成28年9月15日(木)～平成28年10月3日(月)

本校敷地内立入禁止区域において、「調査の為の流出土の搬出及び測量調査」が行われます。

トピックス

◆平成28年8月31日(水)～9月6日(火)5日間(土・日は除く)の職場体験。一生懸命頑張ってきました(2年生)。
 <日の出乗馬クラブ> <ジョイフル本田> <瑞穂消防署>



<株式会社 玄聖>



<福正寺松涛幼稚園>



<第三小学校>



◎各事業所の皆様、本校生徒たちが大変お世話になり、本当にありがとうございました。生徒たちは、この職場体験を通して、心身共に一回り成長することができました。今後とも、生徒の健全育成にご協力の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

◆平成28年9月12日(月)、「思考させ、表現させる授業への改善」を目指して、本校教員による、今年度第2回の研究授業・研究協議会を実施しました。

<2-1 数学の授業(社会から変更)>

<2-2 国語の授業>

<2-3・4男子 保健の授業>



<2-3・4女子 保健の授業>



<2-5 美術の授業>



<研究協議会>



☆ご家庭でも積極的に進めてください

◆「STOP22!!」22時以降は、スマホ等の使用をやめましょう。

☆お子様の肖像使用について

◆本校では、学校の広報活動の一環として授業・学校行事・部活動等の生徒の様子を写真に撮り印刷物やホームページに掲載する等の活用をさせていただきます。保護者の皆様には予めご承諾賜りたくお願い申し上げます。尚、ご承諾頂けない場合は、その旨担任にお申し出ください。

☆子どもの虐待について

◆しつけと称する暴力、子の人格を否定するようなことば、無視や過度な放任も虐待に含まれます。家庭・学校・地域が一体となって、心身共に健全な子どもを育成していきましょう。